

## 地方創生加速化交付金(第1次・第2次)の活用について

## 1 趣旨

竹原市総合戦略に掲げる「まち、ひと、しごとの好循環」を生み出すことを目的に、国の地方創生加速化交付金(第1次・第2次)を活用し、近年急増している大久野島への外国人観光客等に市内への回遊(例:忠海港～忠海駅～竹原駅前～町並み保存地区)を促し、宿泊・飲食・買い物などの消費を喚起する仕掛けを講じることで、観光振興による賑わいを創出する。

## 2 これまでの取組と課題

## (1) これまでの取組

平成27年度は、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)を活用し、外国人が国内を旅行するうえでニーズの高い無料公衆無線LAN(Wi-Fi)を4箇所整備(竹原駅前観光案内処、町並み保存センター、ふれあいステーションただのうみ、忠海港)するとともに、大久野に来訪した外国人を対象に、アンケート調査やモニターツアーを行い、『外国人観光客目線で作る竹原ブラッシュアップアクションプラン』を策定した。

## (2) 課題

○町並みなどを回遊せず、広島方面や関西方面に向かっている。

○観光客は増加しているものの、一人当たりの観光消費額は減少している。(観光消費額2千円未満の人が半数以上)

○町並みを来訪した外国人の9割以上がその魅力を高評価しているものの、町並み保存地区の存在が知られておらず、市内の回遊につながっていない。

## 3 これからの展開

## (1) 取組方針

○誘客・回遊・消費を促す情報発信の充実と情報環境の整備

○日本文化が体験できる古民家活用の模索

○民間のノウハウを活用した企画提案による消費喚起

○空き店舗活用等のまちなかの賑わい創出

## (2) 具体的な事業

① 事業期間：平成29年3月まで

② 事業費：78,236千円(国10/10)

区分	事業内容	事業費
第1次 (国の採択)	観光ポータルサイト(HP)のリニューアル事業	4,000千円
	台湾からの個人旅行客誘致促進に係るプロモーション事業等	7,000千円
	現地を訪れたような疑似体験ができるバーチャルリアリティ技術を活用した観光情報発信事業	7,236千円
第2次 (国へ申請中)	回遊・消費を多言語で促す回遊性向上事業	17,000千円
	異文化交流を促す古民家活用交流事業	1,500千円
	民間ノウハウを活用した消費喚起促進事業	29,000千円
	官民連携組織設置や活動を支援するまちなか賑わい創出事業	12,500千円